

交通ルールを守って
つながる笑顔



かながわの交通

2013

8

今年の交通安全年間スローガン一般部門～運転者(同乗者を含む)に対するもの～

安心と わが子をつなぐ チャイルドシート



二輪車安全運転全国大会団体準優勝の神奈川県チーム



自転車はどこを走ったらいいの...? 教えて!

自治会・企業・高齢者の集まりなどで

チリン・スクール を一緒にやりませんか。



◎県内の交通事故発生概況(7月末)

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
平成25年		19,325	87	23,030
平成24年		20,661	84	24,524
増減数		-1,336	+3	-1,494
増減率		-6.5	+3.6	-6.1

◎県人口・運転免許人口

	総数	男	女
県人口	9,079,363	4,544,042	4,535,321
免許人口	5,554,418	3,224,225	2,330,193
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

(県人口は平成25年7月1日、免許人口は平成25年6月末現在)

第46回二輪車安全運転全国大会

《神奈川県チーム団体総合第2位》

《**栄冠!** Aクラス(400CC)小倉選手が個人総合優勝》
 《高校生等クラス(50CC)小菅選手が個人総合で第3位入賞》
 《女性クラス(50CC)北小路選手が個人総合で第3位入賞》

第46回二輪車安全運転全国大会は、8月3日・4日の両日、三重県鈴鹿サーキットで開催されました。本県からは5月25日の県大会成績上位選手の中から6月の土曜日と7月の土、日曜日の特別訓練を経て代表選手を選抜し、橋本紳二監督以下、Aクラス小倉剛、Bクラス石井孝幸、高校生等クラス小菅凌、女性クラス北小路結花の各選手が出場しました。猛暑のなか、健闘した結果、団体、個人とも昨年を上回る成績を収めました。

大会前日に大型バスに選手、関係者一同乗車して、約400キロ、約7時間かけて会場入りし、荷をほどいてすぐミーティング後、猛暑の中、夕食前に入念な下見を暗くなるまで行いました。

●大会第1日
 競技は例年どおり、2日間の合計持ち点1,000点(法規走行500点、技能走行500点)の減点方式で行われ、初日を終えてAクラス小倉選手が減点ゼロ、他の3人も僅かの減点で抑えることができ、団体第2位と好位置につけましたが、すぐ後の第3位に昨年の優勝チーム東京都が僅差で迫り、緊張を強いられることになりました。

●大会第2日

各選手は応援団の期待と声援を胸に、プレッシャーと戦いつつ健闘。小倉選手が僅かなミスで惜しくも満点を逃したものの、見事個人総合優勝に輝き、小菅選手及び北小路選手が第3位、石井選手も大きな減点がなく、監督指導のもと「フォアザチーム」に徹した結果、平成22年以来の団体総合第2位という輝かしい成績を勝ち取りました。

表彰式会場では感激を分かち合うとともに、帰路のバスの中でも大いに盛り上がり監督、選手、関係者一同、来年の優勝を固く誓いました。県警、指導員、サポーターの皆様方のご支援に感謝申し上げます。

第48回交通安全金子供自転車全国大会

《快挙!厚木市立清水小学校が初出場で団体8位入賞》

《見事! 藤岡美佳選手が個人総合第2位》

第48回「交通安全金子供自転車全国大会」が、8月7日(水)に全国47都道府県から代表選手が参加して東京ビッグサイトで開催されました。本県からは、去る7月6日県大会で初優勝を飾った厚木市立清水小学校の藤岡美佳さん(6年)、志水萌香さん(6年)、尾上諒太さん(6年)、三宅愛莉さん(6年)の4名が出場しました。

午前9時からの「学科テスト」終了後、開会式が行われ、午前11時から古屋国家公安

委員長の合図で実技(安全・技能走行)テストが始まりました。本県チームは、昨年の優勝県である山形県の選手から教えて9番目にスタートし、熱戦が展開されました。清水小学校の教職員、保護者等50人を超える応援団が駆けつけ、その熱い声援にこたえようと健闘した結果、本県トップスタートの藤岡選手が減点ゼロの満点で、惜しくもタイム差で見事第2位、また他の選手の活躍により団体も第8位と念願の入賞を果たしました。

監督、選手の頑張り、努力もさることながら、学校、警察、市、保護者、安協等関係者の方々の一致結束したサポート体制も相当な力になったものと思われまます。

表彰式では、「団体第8位清水小学校」のゴールに大応援団から「オーツ」という感動とどよめき、さらに「藤岡美佳さん個人総合第2位」に「すごい、すごい」と声援とともに涙を流すサポーターもいて感激の一日でした。おめでとございます。来年の更なる飛躍を期待します。



監督、選手、サポーターの皆さん



「傾斜地走行」に奮闘中のAクラス優勝・小倉選手



監督、学校長・各選手

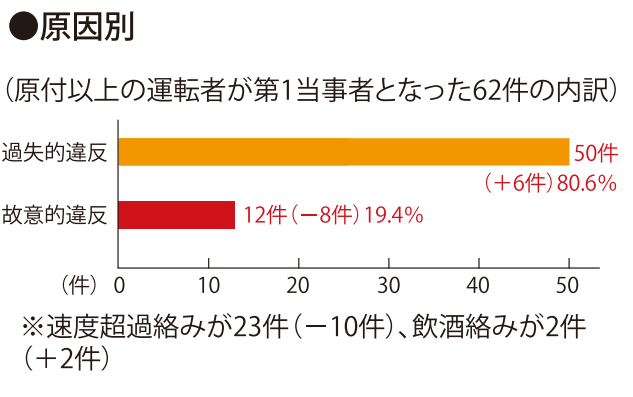
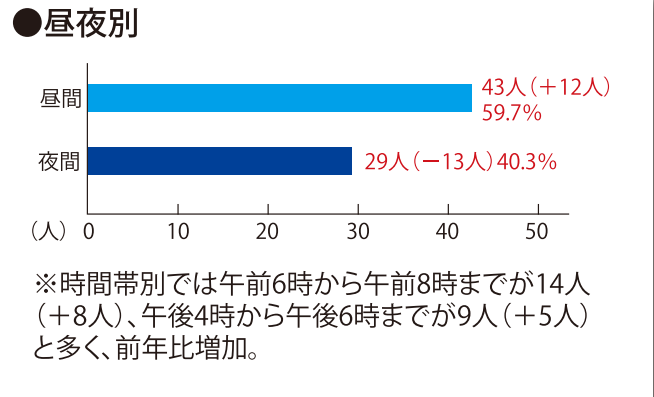
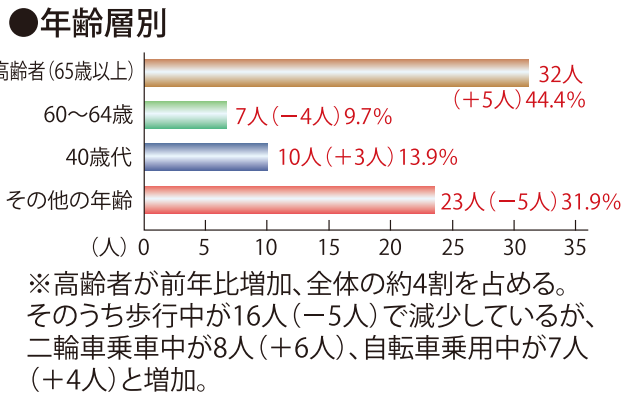
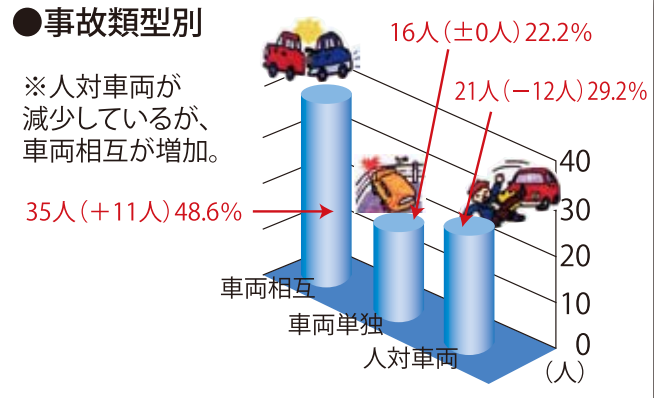
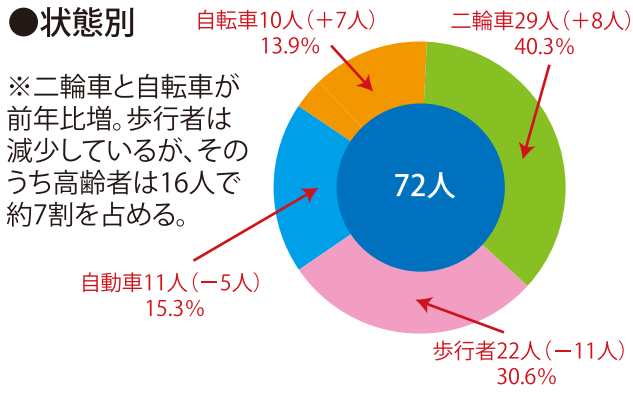


満点走行の藤岡選手

夕暮れは 気をつけ 落ちつけ ライトつけ

交通死亡事故(平成25年上半期)の特徴

～交通事故死亡者数72人の分析～
◎昭和29年以降で最少～二輪車と高齢者が各約4割



＝二輪車死亡事故多発!＝

●二輪車乗車中死者29人のプチ分析(通行目的別・年齢別)

	業務	出勤	退勤	観光・娯楽	ドライブ	飲食	訪問	通院	合計
16～19歳			1	2	1		2		6
20～24歳			1						1
25～29歳		2							2
30歳代		1							1
40歳代			3		1	1	1		6
50歳代		1	2						3
60～64歳		1	1						2
65歳以上	1	3	2	1				1	8
合計	1	8	10	3	2	1	3	1	29

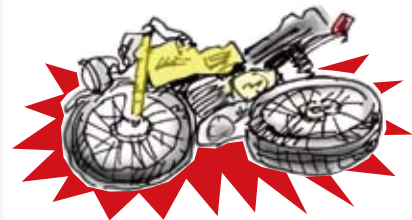
～夏の交通事故防止運動結果～

7月11日(木)から20日(土)までの10日間、神奈川県交通安全対策協議会主唱の下、夏の交通事故防止運動を実施しました。期間中の交通事故発生件数、負傷者数はともに減少しましたが、死者数は8人(前年比+6人)で、特に二輪車の関係する死亡事故が8件中5件と多発しました。

■期間中の県下の交通事故発生概況

区分	発生件数(件)	死者数(人)	負傷者数(人)
本年	976	8	1,150
前年同期比	-42	+6	-58
増減率(%)	-4.1	+42.9	-4.8

注:()内は前年同期比、%は死者数(件数)に占める割合



募集

平成26年に使用する交通安全年間スローガン(標語)を一般財団法人全日本交通安全協会、毎日新聞社主催により次の要領で募集しています。前月号でお知らせしました交通安全ファミリー作文と合わせ、ふるってご応募ください。

募集期間

平成25年9月30日(日)まで(「秋の全国交通安全運動」最終日)必着

募集区分

- 1 一般部門A:一般及び学生(小・中学生、高校生も応募可) 運転者(同乗者を含む。)へ呼びかけるもの
 - ① 運転マナーの向上(高齢者、子ども、身障者等への思いやり運転)
 - ② 飲酒運転の根絶
 - ③ すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
 - ④ 夕暮れ時の早め点灯の促進
- 2 一般部門B:一般及び学生(小・中学生、高校生も応募可) 歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの
 - ① 高齢者の交通安全(正しい横断など)
 - ② 自転車の安全利用の推進(自転車安全利用五則の徹底など)
 - ③ 夕暮れ時、夜間の交通事故防止(反射材用品の活用など)
- 3 こども部門:小・中学生まで
小・中学生へ交通安全を呼びかけるもの

平成26年使用交通安全年間スローガン(標語)募集要領



※ 自作、未発表作品に限る。過去の入賞作や他で公表・使用されたスローガンと同一ないし酷似と判断された場合、審査対象とならない。応募点数の制限なし。

送り先

〒100-8051
東京都千代田区一ツ橋1-1-1
毎日新聞社事業本部
「交通安全年間スローガン」係
(電話03-3212-0190)
平日10:00~18:00

発表

平成25年11月下旬の毎日新聞紙上及びNHKテレビ、ラジオ

表彰式

平成26年1月下旬の第54回交通安全国民運動中央大会に最優秀者を招待(予定)



地区交通安全協会連合会総会の開催

- 6/21 相模地区交通安全協会連合会
- 6/23 湘南地区交通安全協会連合会

総会は、各地区連合会の平成24年度の事業報告、25年度の事業計画、予算、役員の変更などが審議され、了承されました。相模地区の石井会長は再選、湘南地区会長は伊勢原の上林会長が新たに選出され、今期で退任する役員に感謝状が渡されました。また来賓として県協会から西村専務理事が挨拶し、交通情勢や交通安全協会の役割、本年度における県交通安全協会と地区協会の業務に関する連携、交通安全に関する取り組みなどについて説明がありました。



相模地区の総会

各地区協会で交通指導員委嘱式等を開催

本年は交通指導員事業運営要綱に基づき、3年ごとにされる交通指導員の委嘱替えが行われる年度に当たり、各地区協会では、再委嘱のほか定年退職者等を見越して新規委嘱者を募り、警察署長の出席を得て委嘱式を行い、併せて交通課長等を講師として活動上の注意、事故防止などの研修会を開催しています。

退任される方には、在任年数等により功績章、感謝状の授与、記念品の贈呈があり、新規に委嘱される指導員には被服の支給、指導員手帳の貸与があります。



和・綾瀬交通安全協会

その292 厚木警察署管内交通安全協会

厚木警察署管内交通安全協会(石井廣好会長)では、警察署と連携して夏の交通事故防止運動の一環として、八菅橋下河川敷でキャンプ、川遊び、バーベキューなどを楽しんでいる家族連れなどに対し、飲酒運転根絶、ハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。



ハンドルキーパー
運動の紹介

その291 宮前交通安全協会

宮前交通安全協会(村野博会長)では、東急線宮前平駅前周辺の飲食店を訪問し、「ハンドルキーパー運動推進中」と記した袋入りの割り箸を配布しながら飲酒運転の根絶を呼びかけました。



新任事務長紹介 ～よろしくお願ひします～

大和綾瀬交通安全協会 小島好行事務長

【抱負】

「かながわの交通」紙をご覧の皆様、はじめまして、小島と申します。

当協会には、本年4月からお世話になり、交通安全活動状況をはじめ会員加入に対する対応等いろいろな事を会長、前事務長からご指導をいただきました。

特に経理に関する事は、これまでに経験がなく不安なところでもあります。

今後は、悲惨な交通事故をなくすため、ボランティア活動に取り組んでおられる協会役員、交通指導員の皆様方及び各関係機関が交通安全活動に積極的に取り組んでい

ただけるよう、各地区交通安全協会の活動等を参考にさせていただきながら、更に、安全で安心なまちづくりの役に立てばと思っています。

今後もよろしくお願ひします。

【プロフィール】

川崎市多摩区出身です。家族は妻、長男、長女の四大家族です。子供二人は既に結婚して独立し、現在は妻と二人暮らしです。心配事は、近くに住んでいる高齢の両親のことです。



試験場で運転練習

運転練習はいつやるの？ 今でしょう！
運転練習はどこでやるの？ 運転免許試験場でしょ！



免許を持っているが運転に自信のない方
外国免許からの切り替え実技確認を受ける方
限定解除等の技能試験を予定している方 } にぴったり

■ 練習できる日時

- 土曜、日曜及び祝日(年末年始等指定日を除く。)
- 午前8時から午後4時まで。
- ※ 日時については、変更する場合があります。

■ 練習できる車両

大型自動車(バス、トラック)、中型自動車(バス、トラック)、けん引自動車、普通自動車

- 持ち込み車は、バス、トラック、けん引自動車は補助ブレーキを備えたもので、普通自動車は長さ4.7メートル以下、幅1.7メートル以下のものに限る。
- 貸車は、県交通安全協会が準備したものに限る。

■ 練習できる方

- 新たに運転免許を取得しようとする方
- 免許所持者で運転技能向上のために練習しようとする方
- ※ 普通二種免許を除き、指導員(該当免許期間3年以上の者)の同乗、特に持ち込み車での練習は、指導員の同行が必要です。また、貸車での練習は、AT車を除き交通安全協会が指定した指導員(別料金)の同乗が必要です。

■ 練習料金(1時限50分単位)

- 車両を持ち込んでの練習
 - ・ 普通自動車 ————— 3,500円



● 貸車での練習

- ・ 大型バス、大型トラック、けん引自動車 — 8,500円
- ・ 中型バス ————— 8,000円
- ・ 中型トラック ————— 7,000円
- ・ 普通自動車 ————— 5,500円

※ 上記金額は、貸車両とコース使用料の合計です。神奈川県交通安全協会に入会されている方は、500円の割引があります。

■ 申し込み要領

予約制をとっていますので、練習を希望する前日までに電話又は直接窓口で予約してください。

- 予約開始日 ————— 2週間前
- 予約時間 ————— 午前9時から午後4時(年末年始の休日を除く。)
- 予約電話 ————— 045-362-3468
- 予約窓口 — 自動車運転免許試験場1号館
公益財団法人神奈川県交通安全協会

交通事故の悲劇に学ぶ⑦

●「遅かった」

突然「ザー」という音が耳に入ってきたのです。車が大きな水溜まりに入ったとき、車の床に水が当たるような「ザー」という音。その音を聞いている私の目は、ピンポン球を半分を割って被せられたかのようにボンヤリとした明るさだけを感じていました。意識の中ではゴミを入れるポリ容器に自分の運転する車が軽く接触したぐらいに感じた私は、軽くブレーキを踏んで車を止めました。

目を開けてみると、私の車はガードレールに沿って止まっていた。心の中で「やってしまった」と思いながら車を降りて見ると、車の左側フェンダー下部に擦った跡があり、左前ドアと左後ドアの柱部分にも同じくらいの高さのところに5センチほどの細い線状の傷が付いていました。7～8メートルほどもどってガードレールを見たところ、ガードレールの柱に車の塗料が付着していました。特に柱のキャップ部に強く付着しています。その下にはタイヤの黒いゴムの跡も付いています。「これならガードレール修理の心配はいらないな」と早くもソロバンを弾きながら自分の車の前部を見にもどりました。

「ヘッドライトは無事、やっぱりバンパーは交換かな。いや、ガードレールの塗料が白く圧着しただけだからコンパウンドですみそうだ」などと勝手な計算をしている私の後から「どうしました」とバスの運転手さんに声をかけられました。「居眠りで自損事故をやってしまいました」と、このときまでは元気に返事をしていました。1～2分後、ガードレールの内側に立っていた電柱と、さらに内側の植え込みとの間に、60年輩の着物の女性がハンドバッグを胸に眠るように横になっているのを発見しました。「傷はないが、様子が変だ」と話し合ううちに私の顔が真っ青になっていくのが自分でもわかりました。

すぐに警察と119番に通報し、それでも安心できず朝の7時だというのに近所の家を起こして「110番と119番に電話してください」と頼み込む有様です。物音で窓を開けたマンションの住人にも大声で同じことを頼んでいたそうです。この様子を見ていたバスの運転手さんは「この人は逃げない」と判断したのか、私に「OO営業所のものです」と告げて、バスを発車させて行ってしまいました。

通報から2分で救急車が到着しているのですが、この2分



が本当に長く感じられ「救急車はなにをモタモタしているんだろう。他の事故で出払ってしまって遅れているのかな」そんなことまで頭にチラッと浮んで来ました。

待望の救急車が到着し、倒れていたかたを収容し終わると、救急隊の人が私の名前と住所を記録しています。次にパトカーが到着し、しばらくして派出所からも自転車でも応援が着きました。でも救急車は出発してくれません。そのうちにパトカーは帰ってしまいました。「早く病院へ」そう思って頼んでみますが、救急車は出発してくれません。やがて交通課の現場検証車が到着すると、やっと救急車が電子ホーンを鳴らして出発してくれました。でも音だけでいたってノンビリと走って行くように見えます。

現場検証。警察署での事情聴取。供述調書にサインをすませると、その足で被害者の収容されている病院へ向かいました。病院ではすでに私より早く、被害者の家族のかたがたが集まっておられました。このときになって初めて、まったく異質の人生がすでに始まっているのを強く実感として感じたのです。

私が病院から帰って2～3時間後の電話で被害者のかたが逝去されたことを知りました。走行中仮眠状態となり、車を道路の左側に寄せたことが凄惨な悲劇を生んだのでしょうか。あのとき車を止めて休んでおけば、あるいはもっと手前でガードレールに強く当たっていれば、などと事故直後は考えました。

しかし、刑務所に拘禁され、教育を受けるようになって自分に対する見方が変わりました。事故だけでなく多くの違反などの原因のほとんどが自分自身の考え方の間違いに起因していたのです。

～(一財) 東京都交通安全協会編集発行「贖いの日々(第15集)」から～

インフォメーション

- セーフティトレーニング ————— 9月 8日
- 地区交通安全協会会長会議 ———— 9月11日
- 秋の全国交通安全運動 —————
- 9月21日(土)～30日(月)までの10日間
- 交通事故死ゼロを目指す日 ———— 9月30日

賛助会員のご紹介

このコーナーでは、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- あいざわ(株)
————— 横浜市磯子区杉田
- (株)アベックス南関東支社横浜南営業所
————— 横浜市戸塚区秋葉町
- (株)ウミヤマ
————— 横浜市鶴見区鶴見中央



相模原南交通安全協会
会長
町田 國廣さん



相模原南交通安全協会は、昭和49年、相模原市の人口急増に伴い、相模原南警察署と同時に同警察署の一角に発足しましたが、平成22年の政令指定都市への移行とともに相模原市南区をエリアとするようになりました。

の交通流とも絡んで交通情勢の変動が予想されることです。今回は、本年5月、都市化の進展が著しい相模原南交通安全協会の会長に就任しました町田國廣さんをご紹介します。

JR古淵駅前は国道16号に面する2つの大型店舗を中心に交通流も多く、また小田急線の相模大野駅前、西側地区の再開発事業が竣工し、「ポーン相模大野」のオープンにより「一段と賑わいを見せるほか、小田急相模原駅前についても北口B地区が大規模再開発中であり、現在も発展を続けています。

会長は、現在72歳。東京都中野区に7人兄弟の5番目として誕生し、建設会社勤めの経験を活かして、昭和47年に相模原市に移住してから町田建設を起業しました。当協会では、昭和57年の支部役員を皮切りに支部長、理事、副会長を歴任して通すこと」とのことです。

最近では圏央道相模原愛川ICが開通し、東名高速への利便性が飛躍的に向上したほか、将来は中央高速への連結も予定されていることから、既存の国道16号や行幸道路など幹線道路

は、「元旦マラソン」にはじまり、「相模川芝さくらまつり」、「相模の大風まつり」、「サマーわぁ！ニバル」、「よさこいRANBU」など年間を通して目白押しで、当協会としてもその交通対策などに支援・協力をしています。南

区が「自転車事故多発地域」に指定されているように、交通事故の特徴である自転車事故の防止に力を入れています。

幼稚園児や小学生などに対する交通安全教育はもちろんです。特に高校生の自主的な活動が活発であることから、バイハイ(bicycle, high school)の略)作戦の一環として、昨年10月には南区内の高校・大学11校と当協会や警察も参画する「南区自転車対策学校連絡会」を立ち上げ、更に昨年12月には自由参加を前提に学生に参加を募ったところ、5校20名により「南区学生自転車会議」が結成されたため、その運営や校門などでの現場活動、キャラクターづくりなどに協力支援しています。

会長には、年間を通じて各季の交通安全運動や他団体との連絡調整、行事への参加など大変お忙しい日々が続くと思われますので、健康にはくれぐれも気をつけて、今後も益々のご活躍をお願いしたいと思います。
(取材協力：相模原南交通安全協会)

こんにちは
「戸塚交通安全協会」です

戸塚交通安全協会は旧東海道1号線と横浜新道が交差する戸塚大坂に位置しています。その東海道の松並木も渋滞車両の排気ガス等の影響で昔の面影は一段と薄くなっていますが、近くの交通渋滞情報で有名な原宿交差点は、平成22年10月から立体化が完成し、渋滞は解消しています。しかし戸塚警察署前からの渋滞が発生し、それをネックとする渋滞は続いている状況にあります。

また、戸塚駅付近の国道1号線は、通勤・買い物客車両や他の通過交通車両と相俟って、JR線の東海道本線、横須賀線、貨物線上下6本が走る鉄道の超過密路線でもあり、同1号線を横切る「戸塚大踏切」が「開かずの踏切」とテレビ等で紹介されるなど、交通渋滞で有名になっています。ときの吉田首相が大磯町の私邸から上京する途中、この「戸塚大踏切」の遮断機が上がらないことからバイパス(横浜新道)を作らせたというエピソードもあり、それによって毎年正月に行われる箱根駅伝についてもそのバイ

パスにコース変更し、選手を踏切で立ち往生させることもなくなりました。

しかしながら、現在も続く戸塚駅周辺の渋滞を解消するために、駅前商店街の再開発と並行して「戸塚大踏切」の線路の下をくぐるアンダーパス(地下車道)と人道橋の設置工事をしており、平成27年1月ころ完成予定とのことです。これにより特に朝夕の通勤時間帯の慢性的な渋滞から解放され、区民の永年の願いが叶えられる事が期待されています。

人口の増加、都市化の進展に伴い、昭和47年に戸塚区から瀬谷区、栄区、泉区に4分区され、交通安全協会も4つに分かれた経緯があり、現在の戸塚交通安全協会は、職員2名、パート職員4名で、パート職員は2人ずつ1日おきの勤務態勢を取っております。世間一般的な不況の波や少子高齢化の波が当交通安全協会にも押し寄せて来て、入会者は減少傾向にありますが、それでもお客様には笑顔を保ち、入会の協力をお願いしています。

毎年4月から7月初めにかけて区内27小学校に対して交通安全教室を行い、地域の交通安全協会役員が連日のように交通安全指導を実施していますが、学校の関係者、特にPTA



大踏切アンダーパス工事

校外委員、母の会の方が協力してくれています。当交通安全協会としてはこの機会を逃す手はなく、交通安全協会の活動と入会等PRの場として協力をお願いしています。まれにですが、「小学校の交通安全教室でお世話になりましたので入会協力いたします。」とってくれる人もいて、活動の成果と、うれしく思うこともあります。

これからも地域の交通安全を守るため、安全は学校・家庭・地域・職場からをモットーにあらゆる機会に広報啓発等積極的な活動をしていきたいと思っています。

(鳥谷部 記)

地区交通安全協会の活動紹介



南 港
高齢者事故が多発しているため、日野第三町内会において、高齢者のトラビックやラジオ体操の機会に、シルバー講習会を開催し、高齢者の事故防止を呼びかけました。



賀 須 横
京急横須賀駅前において、「うちわで交通事故をうちはらおう」といううちわやロスカを配布しながら、夏の交通事故防止運動キャンペーンを展開し、通行人に交通事故防止を呼びかけました。



原 模 相
光が丘地区4校1600人の生徒から募集した交通標語の表彰式を行い、最優秀作「待ってるよ、無事故で帰る。その笑顔」の横断幕と鉛筆を寄贈し、交通安全意識の高揚を図りました。



井 久 津
夏休みを前に津久井ヶ丘幼稚園児40人が警察署を訪れ、短冊に交通安全の願い事をしたためて竹飾りを作る際、助言するなど裏方としてお手伝いをしました。

部 戸
夏休みを前に、戸部小学校2年生が横断歩道を安全に渡る生徒を描いた交通安全大うちわを戸部警察署に寄贈し、学校から、さらには多くの人が交通事故に遭わないよう祈願しました。



緑
宮ノ下交差点において、夏休みを控え、夏の行楽シーズンを迎えて交通事故の多発が予想されることから、ちらしや啓発物を配布しながら交通事故防止を呼びかけました。



北 沢 藤
湘南台駅地下広場通路で、藤沢市「海の女王」、ぬいぐるみの参加を得て、チラシや啓発物を配布しながら通行人に交通事故防止を呼びかけ、夏の交通事故防止運動を周知しました。



南 原 模 相
夏の交通事故防止運動の初日、国道16号の上線側安全協会役員等を配置し、「全席シートベルト」「危険携帯電話」のシンドアレットをかざし、更には通行車両にチラシ等を配布してキャンペーンを実施しました。



編集後記

町田と相模原の境となっている「境川」は、通勤時たまに通るところですが、水もきれいで、錦コイが泳ぎ、カワセミや鴨等が飛来するなど地域の散歩・ジョギングコースとなっています。若干気になるのが、町田側が川辺まで降りる施設があるなど、整備されているのに対し、相模原側では河原に降りることもできず、これも東京との格差なのかと感じます。以前は、自転車やバイクが川の中に捨てられるなどの残念な光景も目にしましたが、今はそのようなこともなく、地域全体で水辺を憩いの場所として大事にしているという感じがうかがえます。

今年は、桜の満開時に大和の「千本桜」を見に行ってきましたが、引地川の両側にソメイヨシノが間断なく植えられ、まことに見事な景観でありました。「地域の水辺」は人が憩うには最適な場所が高齢化社会が進行している現在、「こういうところにお金をかけてもらいたい」と思います。

さて、これも通勤時に感じるのですが、自転車のマナーも以前よりは良くなってきた感じがあります。自転車が行者を縫うように走る光景や、携帯を操作しながらの運転もあまり見なくなりました。マナーに関する広報啓発がかなり浸透してきたのかなとも思いますが、地域によってはまだまだの所も多いと思います。

県内事故の状況を見ると、残念ながら自転車乗車中の死亡事故は前年同期に比べ大幅に増加しており、自転車事故防止は急務であります。事故には必ず違反が存在し、違反とマナーは表裏一体の関係でもあります。神奈川県が自転車マナーの先進県といわれるように交通安全協会も頑張っていきたいと思えます。

(國分 記)